

単元名 8 未来へ向かって一温かいスープ

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気付いたりすることができる。
- (2) 自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめることができる。
- (3) 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとする。

標準的な展開例

12210301_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもつ。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読しよう。 ○作品を通読する。 ○時代背景や筆者の置かれた状況を捉える。 ○筆者の思いを想像し、感想を共有する。 <p>2 筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★筆者の考える「国際性」とは何かを読み取ろう。 ○「月末のオムレツの夜」のエピソードを読み、筆者とレストランの母子それぞれの思いを読み取る。 ○筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 <p>3 「国際性」について自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★「国際性」について自分の考えをもとう。 ○筆者の考える「国際性」の基本とは何かを捉え、それについて自分の感想をもつ。 ○「国際性」についての考えを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもたせる。 ・教師による範読か、国語指導CDを利用して聞かせる。 ・当時の状況が分かる語句や文に線を引かせる ・脚注を参考に当時の世界状況を想像させる。 ・時代背景や状況を踏まえて筆者の思いを想像させ、それに対する感想をまとめさせる。 【評】筆者の思いを想像し、感想をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・「温かいスープ」という題名に込めた筆者の思いを想像させる。 ・筆者の考える国際性について、文章中の語句を引用してまとめさせる。 【評】「国際性」とは何かを読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・前時にまとめた筆者の考える「国際性」について振り返り、それについて自分の考えをまとめさせる。 【評】「国際性」とは何か自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・3～4人グループで考えを交流した後、学級全体で考えを伝え合う。 【評】「国際性」についての考えを伝え合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する

【備 考】

国際性というと、流暢な外国語の能力や事業のスケールといったことばかりに目が向きがちである。しかし、それとは全く意を異にしている文章を読むことで、生徒たちに国際社会における人と人との関係についての考えを深めさせたい。また、新しい進路を控えたこの時期の生徒たちは、「自分とは何か」、「自分らしく生きるためにはどうすべきか」を探し求め始める。しかし、その答えは、そう簡単に見つかるものではない。他の人々の生き方や文学作品に表れた作者の思いに触れることで、少しずつ探り当てていくものだろう。教材を通して、国際社会の中で、自分らしく生きることとはどういうことかを考えさせたい。

中学校3年間の学習もまとめる時期である。教科書やノート、学習プリント、作品、さらには読書記録などを見直して、学んだことや身に付いたこと、出会った言葉など、観点を立てて整理することを通して国語の学習のまとめをしたい。また、まとめた冊子などを基に発表会などをして、互いにこれからの学びに生かせることなどを話し合わせたい。